

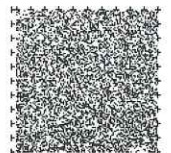
りいぶる



表紙デザイン作者：Studio Tono さん（イラストレーター、和歌山県和歌山市在住）



りいぶる★アイ 特集 女性の声を届けよう！
魅力ある女性リーダー養成講座
語り合い広場
「みんなに男女共同参画」提案事業



センターニュースりいぶるはSPコードにより文字情報を提供しています。情報は専用の読取装置で読み上げます。



特集 女性の声を届けよう!

～政治にもっと女性の参画を～

子育て、介護、仕事など、私たちの生活はどれも政治とつながっており、男女双方の意見が政治に反映されることが必要です。しかし、衆議院の女性議員は10.2%と193カ国中165位(2019年3月 IPU = 列国議会同盟)という低水準となっています。

一昨年、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が成立し、今後女性の積極的な政治参画が期待されます。“りいぶる”で企画した政治に関する講座も含め、改めて日本における女性の政治参画について考えてみました。

日本の政治分野は144位

毎年各国の政治・経済・教育・健康の4つの分野において男女格差を数値化したジェンダー・ギャップ指数が世界経済フォーラムから発表されています。

2019年の報告によると日本の男女平等度は153カ国中121位!と過去最下位となりました。上位を占めるのは北欧諸国ですが、アフリカや中米の国が入っていることにも注目です。日本はG7のなかでも大幅に順位を下げての最下位となっています。

政治分野の順位が昨年から19位下がって144位になったのも日本の総合順位が下がった大きな原因です。

分野	2019年		2018年		
	ギャップ指数	順位	ギャップ指数	順位	
総合	0.652	121位	0.662	110位	↓
政治	0.049	144位	0.081	125位	↓
経済	0.598	115位	0.595	117位	↑
教育	0.983	91位	0.994	65位	↓
健康	0.979	40位	0.979	41位	↑
	/153ヶ国		/149ヶ国		

2019年
ジェンダー・ギャップ指数

順位	国	スコア	順位	国	スコア
19	カナダ	0.772	53	アメリカ	0.724
20	アルバニア	0.769	76	イタリア	0.707
21	イギリス	0.767	105	ハンガリー	0.677
1	アイスランド	0.877	106	中国	0.676
2	ノルウェー	0.842	107	ガーナ	0.673
3	フィンランド	0.832	108	韓国	0.672
4	スウェーデン	0.820	120	アラブ首長国連邦	0.655
5	ニカラグア	0.804	121	日本	0.652
6	ニュージーランド	0.799	122	クウェート	0.650
7	アイルランド	0.798	123	モルディブ	0.646
8	スペイン	0.795	124	チュニジア	0.644
9	ルワンダ	0.791			
10	ドイツ	0.787			
15	フランス	0.781			
18	スイス	0.779			

1～10位、G7加盟国(青字)を含む主な国

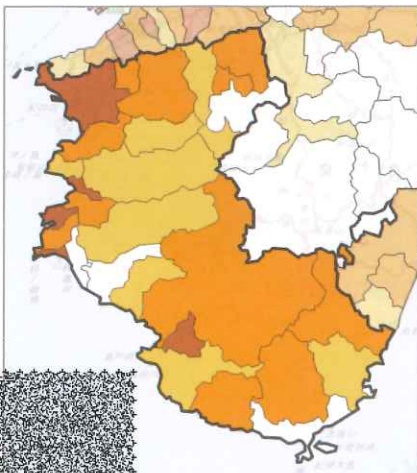
※ジェンダー・ギャップ指数のスコアは「1」に近いほど格差は少なく、「0」に近いほど格差が大きくなる。

出典：認定NPO法人日本BPW連合会HP



あなたの町の女性議員の割合をみてみましょう。

2018年の和歌山県市町村議会の女性割合



現在和歌山県の女性国会議員はゼロ、県議会議員も42人中3人という全国で30位という状況です(出典：内閣府女性の政治参画マップ2019)。市町村議会の女性割合は、平均で11.8%。また女性割合が20%以上の市町村議会は、上富田町で25.0%(12人中3人)、湯浅町、由良町ともに22.2%(9人中2人)、和歌山市21.0%(38人中8人)、美浜町20.0%(10人中2人)、の5市町にとどまっており、30%以上はゼロです。しかしそんな中、2019年に美浜町で和歌山県初の女性首長が誕生したこともあり、今後女性の首長はじめ女性議会議員の活躍が期待されます。

内閣府 市町村女性参画状況見える化マップ



女性首相ら活躍中！



世界では、女性の国会議員だけでなく女性の首相が活躍しています。

昨年就任したフィンランドのサンナ・マリン首相は、首相としては世界で最年少であることでも話題になりました。また連立を組む4つの政党の党首も女性です。ニュージーランドの首相は現職の首相として世界で初めて産休を取得しました。いつかこれが珍しいことではない世の中になることを願います。

アイスランドの首相

ノルウェーでは
2013年から女性首相

フィンランドの首相
女性首相は3人目



デンマークの首相

ニュージーランドの首相
女性首相は3人目

(2020年1月現在)



女性の声を届けよう！ 新しい時代 ～どう変わる？政治とわたし自身～

講師：三浦まりさん（上智大学法学部教授）

令和元年11月16日（土）“りいぶる”会議室A

平成30年5月に成立した「**政治分野における男女共同参画推進に関する法律**」（以下、「**候補者男女均等法**」という。）策定に携わられた三浦まりさんは、政治がいかに私たちの生活とかかわっているか、女性の議員が増えれば社会がどのように変わるかなどを話されました。

講師は、様々な場所で女性の参画が必要とされている時代であるとしたうえで、その理由として、日本では「女性」と「男性」では期待されていることが違い男女で異なる経験を重ねているため、防災分野はじめ様々な意思決定の場で女性の視点や経験が反映される必要がある点をあげられました。特に命にかかわる避難所運営でのトイレの設置場所や性暴力問題などは顕著な問題だと指摘されました。

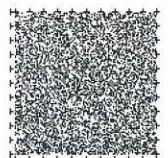
日本の衆議院における女性議員の比率が10.2%であるのに対し、世界平均は24.3%で、193カ国中165位と世界的に低位であることや、全国市町村議会のうち1/4は女性議員がゼロ、1/4は女性議員が1人だけであることを紹介され、参加者からは驚きの声が上がりました。世界の国々はこの20年間で急速に女性の進出に取り組んできたのに対して、日本は大きな取組もなかったため変化がなかったこと、自然に任せるのではなく積極的に変える必要があることを指摘されました。

そして、「候補者男女均等法」について解説いただきました。この法律では、男女の候補者ができるかぎり均等となることを目指し、国や地方自治体には人材育成や普及啓発といった必要な施策の実施を、政党等には男女それぞれの候補者の数に

ついて目標を定めるなどの取組を求めているとのことでした。この法律が成立したことによって、各政党は女性候補者の比率について数値目標を定めるようになったこと、また、目標を立てると次は約束を守ろうとすることから、女性候補者ひいては女性議員が増えることになると説明されました。

女性議員が増え女性の経験や関心事項が政策に反映されることによる社会の変化としては、**性暴力・セクハラ、子育て支援、女性議員の活動の阻害要因となる障壁の除去**などをあげられました。さらに、家事・育児等の負担が多い女性が、時間的拘束が長くブラック企業と言われる政治家になるのは難しいが、女性議員が増えることで新しい政治文化が生まれ、ワークライフバランスも進むだろうと話されました。

まだまだ政治は男性のものという意識が強いなか、女性議員を増やすことが重要で、その方策として、**ロールモデルの提示、女性が自信をつけるために成功体験を積み、仲間を増やす、政策で勝負する**などをあげられました。講師が共同代表を務める一般社団法人パリテ・アカデミーの取組をDVDで紹介され政治を目指す女性たちの強い想いにも触れ、『**声をあげる、耳を傾ける**』ことの重要性を感じました。講演は具体的でわかりやすく、女性議員へのハードルを低くすると同時に、男性にも女性にも女性の政治参画への理解を促すものとなりました。**「女性の地域活動は政治と直結している。生活と政治はつながっている」**という言葉が印象に残りました。





女性力で社会を動かす！

～第一線で、学び、行動する女性たち～

令和2年2月9日(日) “りいぶる” 会議室A

【基調講演】村田和子さん（和歌山大学地域活性化総合センター教授）
（和歌山県男女共同参画審議会会長）

【パネルディスカッション】

コーディネーター：村田和子さん

パネリスト：

吉澤尚美さん（弁護士 性暴力被害者支援に取り組む）

野尻孝子さん（県福祉保健部技監 唯一の部長級女性職員）

石尾 緑さん（PTA会長 看護師をしながら3人の子育て）



野尻さん 石尾さん



吉澤さん

まず基調講演において、村田さんは100年前に女性解放運動家として女性の人権のために闘った人たちがいたこと、また70年代には子育て中の女性たちが保育所を作るために立ち上がったことなど、時代とともに女性たちが抱える切実な問題を解決するべく勝ち取ってきたことを紹介されました。しかしながら、女性が社会の意思決定の場に参画していくことを阻むものは多く、女性に負担がかかる子育てのあり方や、介護、職場でのハラスメントなどを挙げられました。そしてこれらは1つの要因ではなく、それぞれ影響し合い重なり合っていることで、より一層女性の進出を阻んでいると考えられると話されました。

私たちが生活する和歌山県での女性の状況を知り、関心を持つことも重要と話され、中小企業では産休・育休の制度があるものの利用しづらい環境にあることや男性の育児休暇取得率が低いことをグラフを使って説明されました。大切なことは同じ思いをもった仲間を作り、周りに働きかけていくことで、次の世代の子供たちが少しでもより良い社会で暮らせるようにバトンを渡すことが今を生きるものの責任であると締めくくられました。

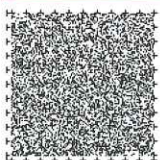
その後のパネルディスカッションでは、パネリストの3人の方に自身の経験から、どのように仕事と役職に取り組まれてきたかを伺いました。吉澤さんはチャレンジとトレーニングを繰り返していくこと、野尻さんは与えられた役職を実現していくための強い意志、石尾さんは自分が楽しんで活動することで周りを巻き込んできたことが大きかったと話されました。参加者には、心に留まった言葉を書いてもらい、パネリストが選び、それぞれ発表してもらいました。最後にパネリストは「楽しく活動しながら色んな支援をしたい」「みんなは一人のために一人はみんなのために」「チャンスがあったら怖がらずに前に進んでほしい」などの思いを話され、村田さんは「女性だけでなく男性もこうあるべきという鎧を脱いで、自分で考え行動し、社会の責任を果たして欲しい」とまとめられました。



に一人はみんなのために」「チャンスがあったら怖がらずに前に進んでほしい」などの思いを話され、村田さんは「女性だけでなく男性もこうあるべきという鎧を脱いで、自分で考え行動し、社会の責任を果たして欲しい」とまとめられました。

この特集では、日本の政治分野において国・地方自治体とも女性の参画が非常に少ないことや、女性の参画を阻む壁について考えてきました。女性議員が少ないことは、女性の意見が社会に反映されにくいと言えます。政治は敷居が高いと思われがちですが、政治は私たちが遠い存在ではなく、毎日の生活のどの部分もつきつめれば政治とつながっており、男女双方の意見が政治に活かされることが必要不可欠です。また、議会の他にも自治体の審議会や委員会等、政策決定の場で発言する機会もあります。

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行され、今後、国はもちろんのこと、市町村でも様々な取組がなされることと思います。政治分野への女性の参画に弾みがつく今、女性も尻込みせず一歩前へ踏み出すことが必要ではないでしょうか。





キャリアデザイン講座

講座レポート

ハッピーキャリアデザイン ～自分の生き方・働き方を計画～

和歌山会場：令和元年11月21日（木） 田辺会場：令和元年11月27日（水）

講師：諸田智美さん（特定非営利活動法人女性と仕事研究所 代表理事・女性と仕事コンサルタント）

諸田さんは、楽しく生き働くハッピーキャリアは、自分の努力だけではなく、社会や会社、家庭などへ解決策を働きかけることで実現するものと説明されました。仕事を続けていくための具体策として、女性が家事をすべきというジェンダー・バイアスをなくし、お掃除は家事代行を頼んでみる、育休中に夫婦で家事・育児を協力し合える体制を作り上げておくことのほか、家庭と職場以外の第三の居場所を作るなどを挙げられました。そして、妻の昇進意欲が高いと、夫の育児頻度が高まり、夫の帰宅も早くなるというデータも示されました。



キャリアデザインに年齢は関係ないと話し、「できないことをできるようにしていく」を合言葉に受講生のやる気を引き出されました。講座は、グループワークが多く、受講者同士の交流の機会ともなり、終始和やかな雰囲気の中進みました。

魅力ある女性リーダー養成講座

Part.1 スキルアップ講座 ～アサーティブコミュニケーションを学ぼう～

日程等：令和2年1月15日（水） “りいぶる” 会議室A

講師：谷水美香さん（ヒューマン・トータルバランスサポートリンとアサーティブコミュニケーショントレーナー）



谷水さんは最初に、アサーティブコミュニケーションとは、自尊尊重のコミュニケーションのことで、相手の真意を確認しながら聞き、必要ときに自分の要望や提案を相手に伝えるように話すことだと分かりやすく説明してくださいました。話し方のクセには、自分の言い分のみを押し通そうとする【攻撃型】、相手のことを考えすぎて自分の意思を伝えられない【受け身型】、遠回しな表現で相手に察してもらおうとする【操作型】があり、話し方・考え方のクセを変える訓練をしていくことが大切と話されました。



私たちには自分と相手（お互い）に自己表現をして良いという権利があることを話され、アサーティブを実践するときの心構えとして、①誠実（自分の気持ちに正直になる）②対等（相手と自分に敬意を払い、相手によって態度を変えない）③自分側の責任（相手とのコミュニケーションの責任の半分は自分にもある）④率直（内容を簡潔に整理し、主語は「私」で伝える）の4つを挙げられました。また、伝える前に「事実」「感情」「要求/提案」の3つの内容を整理しておくことが最も重要と話され、参加者は職場で伝えたいことを書き出したあと、グループに分かれて実際に表現して伝えるためのロールプレイを行いました。



Part.2 ① リーダーシップ講座 ② ロールモデルによるパネルディスカッションと交流会

日程等：令和2年1月21日（火） “りいぶる” 会議室A

講師・コーディネーター：本庄麻美子さん（和歌山大学経済学部講師・キャリアカウンセラー）

パネリスト：有本貴子さん（太洋工業株式会社 総務部総務課課長代理）

御前由紀子さん（三井住友海上火災保険株式会社 和歌山支店課長）

山本由起子さん（割盛堂薬品株式会社 総務部係長）



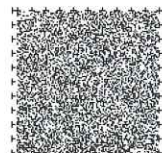
講座の前半は、リーダーやリーダーシップとは何かをワークを交えながら皆で考え、後半は、企業で活躍中の3人のロールモデルの方に、管理職やリーダーの経験談を聞きました。最後に、本庄さんからリーダーやリーダーシップについての説明がありました。



（有本さん・御前さん・山本さん）

3人の方が心がけていることとして、頼まれた仕事は締切り前に仕上げる、何事も迅速に対応し余力をつくる、話を聞くときは1人でなく別の上司と2人で対応しメモを取るなどがあげられました。また、部下への指導については、男女・年齢にかかわらず誰に対しても同じ態度や言葉遣いをする、プライドを傷つけないように注意するなど具体的に教えてくださいました。参加者からの質問にも丁寧に答えてくださり、すぐに役立つ内容となりました。

最後に本庄さんから、リーダとは皆に「変化」や「影響」を与え能力開発する人で、信頼関係が構築でき皆が信じてついていける人であり、その役割は、周りとの良好な関係をつくり、上司と皆をつなぐとともに仕事が遂行できるよう皆をまとめる人であるなどの説明がありました。参加者からは、「自身のモチベーションアップにつながった」など、前向きな感想が寄せられました。



男女共同参画ワールド・カフェ

～学生だけの本音ミーティング in 和歌山 2019～



ワールド・カフェ：少人数のグループで話し合い、1ラウンドごとにホストのひとりを残してあとの参加者が他のグループへ移動（席替え）する形式で、あなたも参加者全員で話し合っているような効果が得られるワークの手法。

令和元年 10月26日（土）“りいぶる”会議室A

ファシリテーター・講師：金川めぐみさん（和歌山大学経済学部准教授）

オブザーバー：本庄麻美子さん（和歌山大学経済学部講師）、りいぶる職員

今年是和歌山大学・近畿大学の学生21人が参加しました。最初に講師の金川さんは、ジェンダーギャップ指数・男性の育休取得率・男女の家事育児時間・国が掲げる女性の指導者を2020年までに30%にする目標[2030]などの数字を用いて、男女共同参画社会の説明をされました。それを踏まえて、学生たちは自分自身の「未来想像シート」を作成し、『男女でどのような違いや共通点がありますか』と『あなたの理想の未来を実現するにはどうしたらいいでしょうか?』を順にワールド・カフェ方式で話し合いを重ねていきました。週休を増やすことで仕事の質をあげていくことや、人生の様々な面で男女平等になるように選択し続けていくことが大切などの考えが挙げられました。若い世代にジェンダーの視点を育んでもらえる時間となりました。

一助産師さんと考えよう
こどもへの性と命の伝え方



令和元年 12月7日（土）田辺市民総合センター

講師：中西理予さん（開業助産師）

中西さんは映像やイラストを使って赤ちゃんが母親のお腹の中にいる約280日間の成長を説明され、命の誕生の素晴らしさを伝えることから性教育は始まると話されました。

子供が自分の身体に関心を持ったときに「命」や「性」を伝えるチャンスと捉えて、幼い頃から何度も繰り返し話していくこと、また人間は「共感」し「ふれあう」ことを通して心を和ませ「コミュニケーション」をとることで思いを伝えられることができるため、日常の様々なテーマを日頃から家族で話し合えるように意識しておくことが大切と語られました。

講師の話は参加者の共感をよび、講座終了後も講師への質問が続いたり、資料の絵本や教材を手にとったりする姿が見られました。



多様な性について話そう

～こどもからのカミングアウトを受けて～

令和2年 2月2日（日）“りいぶる”会議室A

講師：いわたにてるこさん（カラフルチャイルド代表）

性的少数者の家族で支援活動を続ける、いわたにさんは、まず性は「男・女」に二分できるものでなく多様であること、性的少数者は11人に1人いることなど基本の知識について話した後、人は男女の違いを「髪型」「服の色」など見た目で見分けることが多く、それはジェンダーとかわりがあることに触れられました。そして自身が子供からカミングアウトを受けた後の混乱から受容に至る親の葛藤、当事者の低い自己尊重感・自責感などを率直に話されました。

社会の無理解や無知は多様な性を知る機会が少ないため、蔑視や嫌悪は当事者も普通に暮らす同じ市民だという意識の希薄さからくと結ばれました。

自分ひとりの理解にとどめず、周りの人へ働きかけることが必要だと改めて感じました。



◆「男女でつくる元気な和歌山」◆
ポスターコンクール最優秀賞表彰式

☆最優秀賞作品☆

小学生低学年の部



ぬのめ 布目 ゆいさん

(和歌山大学附属小学校2年)

小学生高学年の部



つたに 薦谷 りお 理桜さん

(和歌山大学附属小学校5年)

おめでとう
ございます!



11月12日～25日
パープルリボンキャンペーン

りいぶる図書室では、女性に対する暴力根絶のためツリーに来館者がパープルリボンを飾り、願いを込めたメッセージを書いていただきました。



パープルリボン：女性に対する暴力根絶のシンボル

中学生の部



すぎの りおん 杉野 莉音さん

(田辺市立明洋中学校3年)

高校生の部



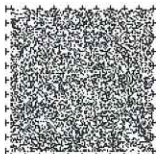
さかい なな 酒井 奈々さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

11月23日 りいぶるフェスタ



たくさんの方のご来場、
ありがとうございました!





「みんなに男女共同参画」提案事業を実施！

今年度も5団体が採択されました。開催日の都合上、4団体のみをご紹介します。

家族で家事シェア作戦会議！

～幸せに楽しく暮らすヒントを見つけよう！～
令和2年2月2日（日）“りいぶる”会議室C
企画：特定非営利活動法人ホッピング

家族で参加できる方を対象に、家事の全体像や『名もなき家事』を知るワークショップを実施しました。普段の家事の実状について、「家事シェア比率」、「見える化シート」、「捨て家事」など6種類のワークシートを用いて、家族で家事について率直に話す機会を作りました。

ワークの最後には「〇〇家のこれからの家事シェア」と題して、これから家族全員が気持ちよく暮らすためにはどのような家事分担をすれば良いかを考え、家族ごとに発表・宣言していただきました。

よりよい家族コミュニケーション

～いざという時のために～
サバイバルクッキング&家事トーク
令和2年2月8日（土）橋本市保健福祉センター
企画：GEはしもとサピユイエ

いざという時のためのサバイバルクッキング実習を行いました。「ナイロン袋でごはんを炊こう」「サバ缶とワカメのごま和え」「乾物と野菜のみそ汁」「蒸しケーキ」と豪華に4品も調理しました。調理法はどれも簡単で子供も一緒に調理しました。また食器も新聞やチラシで紙食器を作り、断水時にはこのように捨てる食器を活用することも学びました。

サバイバルクッキングの後は、男女共同参画の視点に基づいた、家事トークを実施。班ごとにそれぞれ普段の家事について、どのような課題があるかを発表しました。

ワーク・カフェ

～より良い“はたらく”に向けたアクションプランを描く～
令和2年2月15日（土）“りいぶる”会議室C
企画：ワーク・カフェ

主に若手従業員の方を対象とした「働き方」についてのワークショップを開催し、講師から出題された様々なお題についてグループで話し合いながら進めていきました。

ワークでは自分の強みやこだわりを活かし、理想の働き方に近づけるためには、何を・いつ・誰とやっていくか、具体的なプランを自分自身で考え発表しました。最後に講師は「やりたいこと」「求められること」「できること」の3要素が重なるところが自分の働き方・生き方に向いていると説明され、そこに向かっていけるよう日々過程を楽しみましょうと語りかけました。

にじわかキャラバン2019

令和2年2月16日（日）紀の川市立打田地区公民館
2月23日（日）御坊市立湯川コミュニティセンター
企画：特定非営利活動法人チーム紀伊水道

セクシュアルマイノリティとその理解者による交流会を紀の川市と御坊市で開催しました。最初に、セクシュアルマイノリティの基礎知識を解説し、当事者である講師の経験談やこれまでに受けた相談内容をもとに悩みや問題を取り上げました。

その後の交流会では、参加者同士で自分の性別や体のこと、人間関係や仕事のことなど、なんでも自由に語り合いました。和歌山では当事者同士で語り合う場が少なく、自分らしく過ごせる場が少ないなどの現状から、今回の交流会では紀の川市、御坊市ともに大変貴重な場の提供となりました。

来年度も「提案事業」を募集する予定です。みなさまのご応募、お待ちしております。
(詳細につきましては、4月以降のりいぶるHPをご覧ください。)

“りいぶる”図書室

☆スタッフおすすめ図書☆



パッドマン 5億人の女性を救った男

DVD



監督：R・パールキ
2018年 インド
発売・販売元：
ソニー・ピクチャーズ
エンタテインメント

現代のインドで安全で安価な生理用品の開発と普及に奔走した男の実話の映画化。

インドの村に暮らすラクシュミは不衛生な布を使う最愛の妻のためにナプキンを試作するが、妻や親族から変質者のように扱われ村から追放される。それでも諦めなかった彼は進歩的な女性バリーの協力を得て、ついに安価なナプキンの量産と普及に成功する。それは女性の活動を自由にし、経済的自立につながっていく。

ミドロのミ



著者：吉川トリコ
出版社：講談社

小学校3年生のミドリは母親と別居中の父・広とその恋人・源三と田舎町で暮らしている。タイトルの「ミドロのミ」は、ミドリが学校で歌うドレミの歌の歌詞「ミはみんなのミ」をなぞらえたもの。「私は私よ！」と、たったそれだけ言うことが「みんな一緒」を押しつける社会では辛く難しい。

子供も大人も「ふつう」という枠に縛られて生きる全ての登場人物の気持ちに、あなた自身も思い当たることがあるかもしれません。

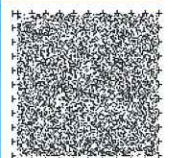
女は「政治」に向かないの？



著者：秋山訓子
出版社：講談社

著者が政治記者時代に見聞きした、野田聖子、小池百合子ら7人の女性議員の政治にかける熱い想いや、男性社会である政治の世界で壁を打ち破りながら生き抜いてきた様子を綴っている。

衆議院議員の女性比率が約1割と低い現状のなか、女性は政治に適さないのではという空気や、女性自身が政治を遠い存在と感じる気持ち、そんな思い込みを払拭してくれる一冊。



自分を大切にするために…。 “りいぶる” 相談室
相談受付専用ダイヤル 073(435)5246

相談は無料。専門の相談員がお話をうかがいます。
 秘密は厳守です。ナンバーディスプレイは使用していません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に男女共同参画相談員が応じます。

電話相談

- ☎(水)木(金)土(日) 9:00～20:30 (受付は20:00まで)
- 〇〇〇〇〇〇(日) 9:00～17:00 (受付は16:30まで)

面接相談【予約制・女性のみ】

- ☎(水)木(金)土(日) 9:00～17:30 (受付は16:30まで)
- 〇〇〇〇〇〇(日) 9:00～16:00 (受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるところの問題に女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

- 〇〇〇(金)〇〇〇 13:00～15:40
 ※第2・第4金曜日
 予約制、各日3人まで。
 相談時間は1人40分。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

- 月3～4回 13:00～14:50
 ※日程は“りいぶる”までご確認ください。
 予約制、各日3人まで。
 相談時間は1人30分。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に男性相談員が応じます。

- ☎(水)〇〇〇〇〇 16:00～20:00 (受付は19:30まで)
 ※毎月第2水曜日
 予約優先(匿名可)
 相談時間は1人40分程度

性暴力について
 相談したい…

性暴力救援センター和歌山
 マイン
わかやま mine
 (和歌山県立医科大学附属病院内)

◆相談受付専用ダイヤル

オーエンキューキュー
073-444-0099

- 相談 毎日/9:00～21:30
- 緊急医療 毎日/9:00～22:00

ここからからだの回復のために、女性支援員が細やかな支援を行います。
 ひとりで悩まずに相談してください。



☆表紙デザインについて☆

作者のStudio Tonoさんは、長期のひきこもり生活を経て、イラストを描くことで自分の立ち位置を見つけられました。

現在は、和歌山・大阪を中心に個展の開催やグループ展への参加など活動の幅を広げています。表紙は、桜咲く丘の上。ピクニック気分が陽気に楽しむ子供とねこ。自由気ままな時間を過ごしている様子です。

“りいぶる”はフランス語で「自由な(libre)」という意味で、センターの愛称です。

【2020年度 開催予告！】

●男女共同参画 特別公開セミナー

「上野千鶴子さん 講演会」(社会学者・東京大学名誉教授)

開催日時：6月18日(木) 19:00～20:30

場 所：和歌山ビッグ愛1F大ホール

●「はじめての男女共同参画エキスパンダー養成講座(実践編)」in 有田

開催日時：6月14日、28日、7月12日、19日(いずれも日曜日)
 10:30～15:30(予定)

場 所：有田振興局

※内容など詳しいことは、4月以降のりいぶるHPをご覧ください。



◆発行 和歌山県男女共同参画センター “りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245

FAX (073) 435-5247

《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時

日曜：午前9時～午後5時30分

休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)

年未年始(12月29日～1月3日)

りいぶる 検索 フェイスブックも更新中♪

一企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山e かんばにー